

公益社団法人日本天文学会理事会議事録

日 時：2016年12月24日（土） 13:00～17:00

場 所：東北大学東京分室 会議室A（千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10F）

出席理事：市川、望月、半田、山下、柴田、熊谷、嶋作、青木、佐藤、山岡、政井、寺島、町田（以上13名）

出席監事：松原、渡邊（以上2名）

欠席理事：中村、須佐（以上2名）

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務員が出席した。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席者が13名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：市川隆

署名人：市川隆、半田利弘、望月優子、松原英雄、渡邊鉄哉

I-2 前回議事録

資料2に基づき、前回（2016年9月14日）の理事会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 入退会報告（資料3、山下）

2016年9月1日より2016年12月20日までの間の会員変動が報告された。仮承認された新入会は正会員73名、準会員12名及び賛助会員1名で、準会員から正会員（学生）への移籍1名、準会員の退会者が2名であった。

II-2 新常勤職員の雇用について（市川）

短時間契約職員が今年度で定年退職予定のため、常勤職員を12月1日より雇用した。

II-3 年会の進捗状況報告

1. 九州大学（町田）

部屋の本契約を1月中に行うため年会プログラム決定を待っている。授賞講演会と懇親会を別の日にするので周知が必要。保育室の部屋を選定した。公開講演会のポスターを製作中である。ネットワークはeduroamを使用する。

2. 北海道大学（徂徠：山下代理報告）

仮予約していた北海道大学高等教育推進機構を借用できることが確定した。公開講演会の講師を筑波大学中井直正氏と理化学研究所望月優子氏にお願いした。

II-4 天文用語集への対応（半田）

天文学編は現代の天文学の用語集のオンライン化で代用する計画があるが、そのためには出版社の持つ著作権を購入する費用が発生するので、子供夢基金に補助金の申請を行い、一次審査は通った。

II-5 「天文教育普及顕彰制度」の検討について（半田）

WGとしての活動を開始した。三条委員会として代議員総会に提案したいので、理事会での承認が必要かを確認して、必要なら次回の理事会で提案する。

II-6 文部科学省での「学術用語の標準化に係る意見交換会」について（半田）

岡村氏、縣氏、半田氏の3名で文部科学省の会合に参加。6学会が参加した。文部科学省令で教科書は学術用語集を参照するように定められているが、各学会で作成して来たものを使っていくよう要望書を提出した。

II-7 「大学教育の質保証」対応文書策定委員会（WG）（山岡）

策定委員会をWGとして位置づけ活動を進め、3月末までに理事に文章案を回覧する。

II-8 科研費Latexマクロの継続に関する日本天文学会の関与について（望月）

学振が公式にサポートする方針になった。

II-9 事業担当理事の近況

1. 年会（佐藤）

九州大学での春季年会は企画セッション3件、特別セッション1件行う。懇親会

が 2 日目で会員全体集会、受賞者講演会は 3 日目とする。プログラム編集委員会を 1 月 13 日に開く予定。

2. 月報（青木）
特集記事の予定が報告された。追悼記事の分量が大きくなって来ているので、うまくコントロールすることを検討していく。
3. 欧文報告（嶋作）
編集顧問会議、編集員会議を行った。年会特別セッションで PASJ 投稿セミナーを開く。PASJ の名称変更については未検討。
4. 庶務（山下）
会員名簿を作成した。今回は名誉会員欄を作成し、過去の名誉会員を入れた。名誉会員の取り扱い方をどうするか次期理事会以降議論が必要。会員名簿の概要を大幅改定した。また名簿作成の基本方針を作成した。
5. 会計（柴田）
予算案を作成した。費用削減のため、可能な範囲で会議を年会時に行うことや Skype を利用すること、飛行機での移動時には割引航空券の利用等をお願いしていく。航空券のキャンセル料が発生した場合は学会側で補填できるように検討する。
6. 天文教育（山岡）
天文教育フォーラムと公開講演会の準備が進んでいる。講師紹介プログラムも年 10 件程度の問い合わせがある。JAXA から提携の話があり方法等の検討を進めている。
7. 事務所の近況（佐藤事務長）
新任の常勤職員が勤務開始。

III. 議題

- III-1 新規入会者の承認（資料 3、山下）
全会一致で承認された。理事会資料のみ（公表なし）に推薦者指名を記載することが提案された。
- III-2 2019 年春季年会開催地の決定（山下）
法政大学（小金井キャンパス、春日隆氏）で実施することが全会一致で承認された。会場費の見積額も問題ない範囲であることが補足された。今後会場費見積額も開催地決定の検討項目として理事会で報告してもらうことにする。公開講演会は国立天文台が担当する。
- III-3 次期理事候補・次期委員候補の承認（山下）
誤植修正の上、次期理事候補及び選挙管理委員会と推薦委員会を除く委員候補について、代議員総会に提案することが全会一致で承認された。また顧問についても全会一致で承認された。
- III-4 選挙管理委員の指名について（山下）
委員長として青木氏、委員として相川氏、大朝氏、小久保氏、戸谷氏の計 5 名が推薦され、代議員総会に提案することが全会一致で承認された。
- III-5 ジュニアセッションの方針について（山岡）
予算の増大は会場費をジュニアセッションの予算に計上するようになったためである。H25-H29 は規模は大きくなっていない。また、予稿集のページ数削減等を進めていることが報告された。今後は、秋季年会時にはジュニアセッションを開催しないこととした。ジュニアセッション開催の目的を外部参加者にしっかり理解してもらう必要があることが指摘された。
- III-6 「シリーズ現代の天文学」第 2 版刊行について（熊谷）
巻頭執筆を岡村氏に依頼すること、奥付けに WG メンバー氏名と所属を掲載することが提案され、全会一致で承認された。
- III-7 日本天文学会天文用語集検討 WG の発足（半田）
メンバーを岡村氏、縣氏、半田氏の 3 名として WG を設置することの提案があり、全会一致で承認された。当面の目的は、子供夢基金補助申請窓口と文部科学省対応窓口。
- III-8 2017 年度事業計画の承認（山下）

ジュニアセッション予稿集の発行部数とシリーズ現代の天文学発行巻数を修正し、新たに設置する予定の日本天文遺産選考委員会の記載方法を修正して、代議員総会に提案することが全会一致で承認された。

III-9 2017年度予算書の承認（柴田）

秋季・春季とも年会会場費が高額となることや短期的事業等の支出によって大幅な赤字となること、ここ5-6年黒字が続き遊休財産が積み上がっているためすぐに問題となることはないこと等が説明された。年会会場費が高額となる場合等は参加費や登録費を値上げする等の対策をとることを今後検討していくことにして、予算書を代議員総会に提案することが全会一致で承認された。会費を何に充当していくのかの議論が必要との意見があった。

III-10 「会長・副会長・理事・監事選考細則」の改正（案）（市川）

代議員総会に提案することが全会一致で承認された。候補者が1名の時でも所信表明や推薦書を天文月報に掲載することにした。

III-11 「代議員選挙施行細則」の改正（案）（市川）

代議員総会に提案することが全会一致で承認された。

III-12 日本天文学会日本天文遺産内規の制定について（半田）

全会一致で承認された。

III-13 「日本天文学会林忠四郎賞内規」の改正（市川）

委員の増員が全会一致で承認された。

III-14 「日本天文学会事務所職員就業規則」改正（市川）

全会一致で承認された。

III-15 謝金規程について（市川）

謝金規定の改正案が提案され、「第2条4.その他会長の認めるもの」の上限金額の規定を修正し、第2条5.として上記の上限を超える場合には理事会の承認を必要とする規定として独立させる修正案が、全会一致で承認された。

III-16 「日本天文学会事務処理規程」の改正（市川）

全会一致で承認された。

III-17 「日本天文学会事務所職員退職一時金に関する規程」の改正（市川）

全会一致で承認された。

III-18 常勤職員担当の任命（市川）

全会一致で承認された。

III-19 新俸給表の承認（市川）

全会一致で承認された。

III-20 その他

1. 日本天文学会委員会に関する細則に天文遺産選考委員会を加えることとして、代議員総会に提案することが全会一致で承認された。
2. 事業計画・予算計画は現委員会が決めていて実行する次期委員会は計画決定に関わっていないので次期委員会委員候補の締切時期を事業計画・予算計画の締切よりも前に設定するのが望ましいとの意見があった。
3. 理事としてWGの長を勤めている途中に理事会の任期が終了した際に、WGの長の職の継続（担当理事として選任されたのか人として選任されたのか）についての問題点が指摘された。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 前回理事会（2016/9/14）議事録（案）

資料3 新規加入者・加入予定者の承認（2016/9/1～2016//12/20）

資料4 「大学教育の質保証」対応文書策定委員会(WG)について

資料5 次期理事及び委員の候補者

資料6 選挙管理委員の指名について

資料7 ジュニアセッションの現状と今後について

- 資料 8 科研費 Latex マクロの継続に関する日本天文学会の関与について
- 資料 9 「シリーズ現代の天文学」日本語第 2 版及び英語版について進捗状況報告及び提案
- 資料 1 0 公益社団法人日本天文学会 2017 年度事業計画 (案)
- 資料 1 1 公益社団法人日本天文学会 2017 年度予算計画 (案)
- 資料 1 2 「会長・副会長・理事・監事選考細則」の改正 (案)
- 資料 1 3 「代議員選挙施行細則」の改正 (案)
- 資料 1 4 日本天文学会日本天文遺産内規 (案)
- 資料 1 5 「日本天文学会林忠四郎賞内規」の改正
- 資料 1 6 「日本天文学会事務所職員就業規則」改正
- 資料 1 7 日本天文学会謝金規程 (案)
- 資料 1 8 「日本天文学会事務処理規程」の改正
- 資料 1 9 「日本天文学会事務所職員退職一時金に関する規程」の改正
- 資料 2 0 常勤職員担当の任命

2016年12月24日

会 長：市川 隆 印

副会長：半田 利弘 印

副会長：望月 優子 印

監 事：松原 英雄 印

監 事：渡邊 鉄哉 印